

平成 29 年度
ラボラーレ 事業報告書（案）

II. 平成29年度ラボラーレ事業報告書（案）

関係法令を遵守するとともに『法人経営の基本方針』に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立った個別支援計画を作成し、適切且つ良質なサービスの提供を行った。

施設として、平成29年度の明確な方向性を職員全員で確認し、統一意識のもと業務にあたるとともに、職員各々の自発的な取り組みが活発に見られた。また、職員より円滑な業務遂行のために、定期的な打ち合わせの機会が欲しいとの声が多く寄せられ、計画的な打ち合わせの仕組みとそのための環境づくりを行った。またスキルアップを図るため、内部研修、外部の各種研修へ積極的に参加した。

その結果、職員のモチベーションの向上と稼働率の向上、そして就労支援事業収入の增收への道筋をつけることができた。

1. 職員の配置状況

職名	施設長	サービス管理責任者	看護師	生活支援員	職業指導員	就労支援員	機能訓練指導員(嘱託)	医師(嘱託)
定数	1名	2名	1名	10名	3名	0名	(1名)	(1名)

2. 登録利用者の状況（平成30年3月31日現在）

（1）サービス区分毎 男女別登録利用者の状況

サービス区分	定員	登録現員		計
		男	女	
就労継続支援B型	20名	13名	9名	22名
就労移行支援	0名	0名	0名	0名
自立訓練(生活訓練)	6名	4名	0名	4名
生活介護	14名	7名	8名	15名
日中一時支援	5名	8名	4名	12名
合計	45名	32名	21名	53名

(2) サービス区分毎 地区別登録利用者状況

サービス区分	定 員	市町村名	計	合計
就労継続支援B型	20名	石巻市	16名	22名
		東松島市	3名	
		登米市	2名	
		涌谷町	1名	
就労移行支援	0名		0名	0名
自立訓練(生活訓練)	6名	石巻市	4名	4名
生活介護	14名	石巻市	11名	15名
		東松島市	1名	
		南三陸町	1名	
		登米市	2名	
日中一時支援	5名	石巻市	10名	12名
		東松島市	1名	
		登米市	1名	

就労移行支援：休止中

(3) 性別・年齢別の登録利用者状況

年齢区分	男	女	計
～14歳	1名	0名	1名
15歳～19歳	1名	0名	1名
20歳～29歳	15名	13名	28名
30歳～39歳	3名	3名	6名
40歳～49歳	5名	3名	8名
50歳～59歳	4名	2名	6名
60歳～69歳	3名	0名	3名
計	32名	21名	53名

(4) 障害の状況

障害の状況	男	女	計
身体障害	10名	11名	21名
知的障害	23名	17名	40名
精神障害	4名	0名	4名
手帳なし	2名	0名	2名
(内)重複障害	6名	8名	14名
合 計 (重複含めず)	33名	20名	53名

3. 事業毎の稼働率状況

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
生活 介護	14名	88%	80%	77%	80%	83%	84%	83%	85%	86%	79%	83%	89%	93%
自立 訓練	6名	105%	93%	87%	60%	49%	33%	30%	39%	38%	31%	40%	41%	84%
就労 B型	20名	93%	88%	92%	91%	90%	97%	96%	99%	102%	97%	99%	100%	101%
日中 一時	5名	95%	86%	90%	93%	91%	87%	89%	90%	96%	96%	92%	141%	80%

※就労移行支援は休止中

4. 作業種別及び部門毎の活動状況

(1) 廉房作業

1日50食～60食の食事の提供を行った。また、新たな取り組みとして石巻市生きがいデイサービスの弁当作りも始め、新しい作業も増えている。給食、弁当作りが同時進行の為、限られた時間の中で仕上げ、効率よく作業を進めるため、試行錯誤をしている状態ではあるが、個々の障害の特性に合わせた作業を提供することで、時間内に協力して効率良く作業ができ、周りの状況をみて行動できる利用者様も増えてきている。

いろいろな個性のある方が共同で作業を行っているが、利用者間でのコミュニケーションをとることは難しい方もいるが、作業ではお互いのやりとりが大事になってくる場面も多く、そのため個々にコミュニケーションが図れるように仲介、場面設定を行いながらコミュニケーションの訓練も行い作業を進めた。加えて、パソコンを使用しての献立表作りや食材表作り、イベント用のピックづくり、厨房からのひとことと題した広報発信の作成も力を入れて行った。利用者自身のアイデアを活かし、色使いなど工夫を凝らしたものを作成できるになってきている。

(2) パン作業

ほぼ毎日注文がある状態で生産作業支援を行った。平成29年度も昼食でのパンの提供を継続して行い、また、基本メニューにない商品、季節商品やデザートの作成支援も行っていている。

限られた作業場空間に最大7名前後の人数で作業を行っていることもあり、身だしなみや作業者の後ろを通る時の声かけ、挨拶、返事の仕方、話し方等、社会的なマナーに対しても身につけられるように支援を行い、個々の障害の特性に合わせた作業においての技術向上を図っている。

送迎時間の関係から、パン製造作業の全工程への関わりが作業時間内では持てていないのが現状だが、外部販売の機会も増え、自分達が製造したものが金銭に替わる、販売するということを意識してもらうため全員で販売に関わり、自分に自信をもって頂けるような支援に繋げてきた。

またメニュー表の見直しやカタログの作成をし、平成30年1月からは、就労支援事業収入の向上、さらには支払工賃額の向上のために、販路の拡大として地域の学校や企業等への外販活動を積極的に進め、月間売上100,000円を達成している。

(3) ファーム&クリーン作業

利用者様のニーズや能力、個別支援計画を元に、利用者様の「出来ること（強み=ストレングス）」が活かせる作業を実施できるように、また短期・長期的に自身の成長を確認できるような支援を行った。

平成29年度の課題としてあげた項目については以下の方針で取り組んだ。

《課題》

- ① F & Cの利用者数が20名前後となり、利用者様それぞれの得意なことや能力の違いが顕著に見えてきた中で、個々の特性にあった個別の作業提供が必要と感じる事が多くなってきた為、事前準備を計画的に進めていかなければならない。
- ② コストの削減

《課題についての取り組み》

- ①・目標達成のためには、どのような作業工程に携わっていただくことが良いのかを前日に打ち合わせすることを徹底した。
 - ・長ネギやじゃがいも栽培を始め、ハウス野菜全般で、利用者様と共に栽培から出荷、販売を一丸となって行うことができた。
 - ・ハード面、ソフト面の工夫を行い利用者様の持っている能力を引き出す事に努め、また、安全面に配慮しながら、利用者自身、利用者同士での作業準備や片付けを行う事でより効率的な作業を実施する事ができた。
- ②・コスト面では、使える資材は再利用し無駄の出ない様に各担当職員や利用者様と連携を取り、コスト削減について考え取り組んだ。
 - ・日々の作業の中で必要な物、不必要的物を改めて見直しながら整理整頓に努め削減に取り組んだ。

●イチゴ生産

約1200株のイチゴの植え付け、株整理、収穫、納品準備等を皆で協力し取り組んでいる。又、販売ルートも洋菓子店、福祉関連、関西大手デパートなどへ拡大している。

個々のニーズや能力に応じた作業提供を行うことにより、達成感や自信、向上につながっている。

夏場のハウス内温度上昇による体調管理では、こまめに水分補給や休憩等を入れ体調に十分に気を付け作業を行い、遮光ネット、扇風機等を活用しハウス内温度を下げた。それでも猛暑で温度が高い時には作業場所や内容を変更している。また体調不調時には、看護師と連携を取り対処をしている。

さらには利用者様が自ら収穫したイチゴを厨房へ届け、食材として活用しラボラーレ全体の利用者様にも味わっていただくことができた。

●じゃがいも、野菜生産

約 10 a の農地において、利用者様と共にじゃがいもの栽培に取り組んだ。

主な納品先としては、登米市南部学校給食センター、特別養護老人ホーム、スーパーなどで、合計約 1 トンの納品。納品を通し納品書へのサインの頂き方、取引先との受け答え訓練、集金行為の訓練、納品後の報告訓練等など、就労に向けての実践的な訓練を行うことができた。

野菜栽培に関しては、一年を通して様々な野菜を栽培した。また、厨房職員とも連携し、前年度と同様に収穫した野菜を計画的に施設の給食食材として納品することができた。その他、長ネギの栽培を行い冬場の就労支援事業収入に繋がる作業を確保し、納品先としてラーメン店を増やし販路拡大に取り組んだ。

また、平成 29 年度からの新たな取り組みとして月 2 回、イトヨーカドー敷地内での野菜販売を始め、お客様との直接のやり取りにより、就労意欲や仕事のやりがいを引き出す事ができた。

●公園管理(登米市受託：登米市都市公園 2 箇所)

登米市より委託された公園 2 箇所の簡易清掃・芝生目土掛け・除草・剪定作業を行った。施設外就労として公園維持管理業務を通し、将来の就労へと繋げるために利用者様のニーズに沿った作業提供と支援を行った。また、就労を意識するために作業で使用する道具の準備や使用方法・片付けを、利用者同士でコミュニケーションを取り、協力しながら行うことによって円滑な対人関係を構築することや責任感を持つ意識作りに繋げることができた。

一人ひとりの作業の進み具合や出来る範囲にバラつきはあるが、各自に見直す機会を設ける事での“気づき”と“発見”を大切にしてきた。利用者様自身が「意識して考え、行動する」事を目的とし、また、作業を通して楽しさや達成感、喜び等を感じながら取り組めるような環境も整えた。

(4) カゴ作業

利用者様それぞれの能力に応じて、カゴの製品作りの作業の細分化を図り、また就労に向けた訓練の一環として、カゴの注文から納品まで、お客様とのやりとりを通して、利用者間以外での交流も図りながら、接客等の社会的マナーの訓練も継続して行った。

作業工程が細かな手作業であるため、利用者様の能力や理解度、障害によって、完成するまでの所要日数が多くかかっている状況でもあった。

お客様からの継続した商品発注の確保、作成、納品までの日数を多く要すること、何よりも利用者様の工賃アップへ繋げることが難しい状況であった為、各利用者様へ現況の説明と今後の取り組みに向けての気持ちの確認や話し合いを行い、了解を得た上で 12 月初めをもってカゴ作業を終了している。

(5) 生活介護部門

利用登録者数は15名前後を推移し8割以上の稼働があり、平均障害支援区分は5.2であった。

レクリエーション活動や運動を確実に提供し、その中から利用者様と共に新たな取り組みを考えていくという事を念頭にサービス提供を行った。レクリエーション活動においては、利用者様と話し合い一人一人の意見を取り入れ、自由な発想を引き出し活動の提供へつなげ、安心安全を基盤とし、利用を楽しんでいただけるように日々工夫を心がけた。運動においては、職員間の連携を図るとともに現状把握と日中活動の見直しを行い、個々の運動と集団活動が疎かにならないようバランスに配慮し、効率よくサービス提供できるようにした。

またより職員間の連携を強めるため月2回のフロアミーティングを行った。利用者様それぞれの目標に向けて前向きに取り組み、また意欲的なニーズを引き出せる支援が行えるよう対人援助技術の向上、言葉遣いにも配慮し施設全体の明るい雰囲気作りを心がけ、職員のスキルアップも目指し取り組んだ。

〈レクリエーション活動として〉

- ・ ひな人形、鯉のぼり、クリスマスリース作りなどの季節に合わせた創作活動。
- ・ 体を動かせるレクリエーションの提供。(ウォーキング、キャッチボール、サッカー、ポッチャ、卓球、ボーリング、宝探しゲーム、近隣の公園へのお花見等)
- ・ F & C作業班の協力のもと、ハウスでの野菜収穫体験。
- ・ 近隣小学校へ訪問し車イス利用者の体験談の講演。
- ・ Facebookにて‘ラボラーレ野菜だより’を作成し写真撮影、更新作業。

〈運動として〉

- ・ 理学療法士指導のもとマッサージやストレッチを行い、歩行器やイージースタンド(立位補助器)を使用しての運動
- ・ 集団、個別での体操、座位、立位運動、口腔体操
- ・ ペグボード、ビー玉、洗濯バサミなどを使用した指先の運動
- ・ 理学療法士の機能訓練指導の状況

理学療法士(機能訓練指導) : 氏家P.T.													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指導	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
人數	14	14	14	15	15	14	14	14	14	14	14	15	171

〈各作業班との連携のもと、生活介護利用者様への作業提供、訓練として〉

- ・ 各作業場での作業
- ・ イチゴ栽培で使用するトレーや発泡スチロール、ランナーピンなどの拭き作業
- ・ PCを使用して、ラベルや献立表の作成作業
- ・ レクリエーション活動で使用する物品拭き
- ・ トイレで使用する備品の補充、使用する新聞たたみ
- ・ 作業内容や日中の活動を日誌に記録し文字と文章の訓練

(6) 自立訓練

主に施設内清掃作業と農生産作業を通し、挨拶や身だしなみ、報告・連絡・相談など、社会的スキルの習得を目指し取り組んできた。利用者個々によって目標は違っており、予定通りに通所することや体調の管理、挨拶や返事などコミュニケーション面の強化、道具や手先・体勢などのより効果的な使い方の習得など様々であるため、利用者個々の目標に合わせた内容での取り組みを行い、少しづつ変化が見られてきている。作業を通じて、先々の就労などに向けた基本的なマナーの習得を軸に支援をしている。

(7) 日中一時支援事業

ほぼ毎日定員の5名の利用があった。

各々の意向を確認し作業や余暇活動を提供している。

学校が休日の際の利用希望もあり、受け入れ対応している。

5. 平成29年度 就労状況

*就労状況

- ・就職者 なし

*就労への取り組みとして

○就労継続支援B型の利用者様の施設外就労。

- ・登米市公園（通年）
- ・芳泉農園（5月・6月）

○求人票の掲示、更新。

○就労支援の見直し、就労支援強化、就労へのモチベーション向上、具体的な取り組みへと繋がるよう障害者求人を出している一般企業と、A型事業所を訪問している。仕事の様子を見学させていただき、現在の障害者雇用状況、体験や実習の受け入れはあるか等の話を聞いている。

H30.1.9 幸満つる郷 KDDI エボルバ 野蒜 訪問（職員2名）

H30.1.26 (株)ダンライフ (A型事業所) 訪問（職員2名）

H30.2.20 (株)北上の郷 (A型事業所) 訪問（職員2名）

H30.2.14 まごころ (A型事業所) 訪問（職員2名）

6. 職員の資質向上策と福利厚生 および施設に関係する事項

(1) 外部研修参加状況

変化の激しい社会福祉施設とニーズの多様化へ対応するため以下の研修へ参加し、ミーティングを利用し研修参加者による報告会を開催し、職員各々の資質の向上に努めた。

月日	研修名	研修内容	場所	参加者
4/19	スキルアップセミナー	アルコール依存症	からころステーション	土井・安彦
4/21	サトー商会 春の展示会	新商品の説明	卸町 サンフェスタ	佐藤
4/25	管理者説明会	水害・土砂災害への備え	県庁	萬代
5/9	サトー商会 展示提案会	簡単、便利な商品提案	イベントホール松栄	宗子
5/17	スキルアップセミナー	不登校・発達障害・ADHD	からころステーション	鹿野・貴子
5/29	OJT 指導者研修	OJTとは何か、進め方等	フォレスト仙台	阿部
7/19	スキルアップセミナー	発達障害について	からころステーション	宗子・島本
8/31	成年後見制度活用講座	成年後見制度について	宮城自治労会館	萬代
9/26~ 9/27	国際福祉機器展	福祉機器の展示 各種セミナー 等	東京ビックサイト 東展示ホール	土井 高橋
9/20	スキルアップセミナー	発達障害（就労支援の取り組み）	からころステーション	島本・ふさえ
10/18	スキルアップセミナー	ひきこもりへのアプローチ	からころステーション	貴子・麻美
10/24	サトー商会 秋の展示会	新商品、器材・包材の説明	夢メッセみやぎ	佐藤
10/20~ 10/22	大萩茗荷村研修	心の持ち方（原点回帰） 地域の取り組みを学ぶ	滋賀県大萩茗荷村	職員 5 名
10/27	農福推進モデル事業	現地視察	北東ファーム、六丁の目農園、(株)みちさき	島本
11/3	睡眠健康指導士上級講座	資格更新のための講座	LMJ 東京研修センター	佐々木
11/7	メンタルヘルスケア研修	メンタルヘルスケアの基礎知識	フォレスト仙台	ふさえ
11/10	虐待防止及び障害者理解促進	講演	かなんホール	菅原
11/14	サービス管理責任者	地域生活分野	県庁	史恵
11/21	ラショナルクッキングライブ	調理実演会	ガス局ショールーム	宗子
11/30~ 12/5	社会福祉施設長資格認定講習	面接授業	ロフォス湘南	萬代
12/4	発達障害者支援セミナー	講演	県庁	高橋
12/11~ 12/12	サービス管理責任者	介護分野	宮城自治労会館	島本

12/14~ 12/15	大萩茗荷村研修	心の持ち方（原点回帰） 地域の取り組みを学ぶ	滋賀県大萩茗荷村	職員2名
12/15~ 12/17	大萩茗荷村研修	心の持ち方（原点回帰） 地域の取り組みを学ぶ	滋賀県大萩茗荷村	職員7名
12/19 12/20	サービス管理責任者	就労分野	宮城自治労会館	土井
1/16	日本理化学工業	工場見学	川崎工場	萬代・島本
1/17	スキルアップセミナー	統合失調症の理解とりハビリテーション	からころステーション	佐々木・伊藤
1/19	宮城県障害者虐待防止・権利擁護研修	虐待の現況と虐待防止体制整備について	県庁	萬代
1/26	石巻圏域障害者福祉サービス事業所交流会	聴く・伝えることの対人援助	総合福祉会館みなと荘	ふさえ
2/21	スキルアップセミナー	記念日反応とトラウマ	からころステーション	萬代・麻美
2/23	相談支援従事者	現任者研修	県庁	萬代
3/5	高次脳機能障害者支援事業研修会	支援体制、地域資源について	石巻市合庁	麻美
3/13	福祉セミナー	知的障害について	東松島コミュニティーセンター	麻美

(2) 内部研修

安心・安全、サービスの向上と職員個々のスキルアップを目的とし、内部研修会を開催した。

月日	研修名	研修内容	参加者職種
4/11	個人情報保護法	取得・利用・保管・提供・開示のルール	全職員
5/15	防災関連内部研修	Jアラート、落下時の行動	全職員
5/18	施設外就労	目的や規程について	全職員
7/6	個別支援計画	アセスメントから個別支援計画作成までの一連の流れと考え方	全職員
7/10	熱中症内部研修	予防と対応について	全職員
7/20	利用者様の安全確保と健康管理	送迎の乗降時の確認と安全について (運行記録の様式変更)	全職員
7/25	感染症内部研修	嘔吐時の対応	全職員
8/6	実務研修・送迎車への乗車介助	手順と注意点について	全職員
8/16	虐待防止法	発見時のスキーム 不適切ケア自己チェックシート	全職員
8/17	津波、大雨等、原子力時の対応	送迎時の対応マニュアル	全職員
9/25	てんかん	発作時の対応と応急処置について	全職員

(3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに腰椎検査、感染症対策を期した。

健康診断	対象者：全職員 受診数：16名	場所：サンクリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：16名	場所：ラボラーレ

(4) その他（施設に関係する事項等）

地域・圏域における情報交換等のための会議、また施設整備に関する保安点検等を実施した。

月日	名称	内容	場所／団体	職員
4/25. 5/18 5/25. 9/14 9/29. 11/7 3/28	石巻自立支援協議会	石巻自立支援協議会 (総会・部会等)	石巻市	阿部
9/20	石巻自立支援協議会	移動の課題プロジェクト	石巻市	佐々木央
1/29	石巻「食」の自立支援	食品衛生監視	石巻保健所	宗子
5/9, 11/16	消防設備点検	消防設備点検	宮城ノーミ	萬代・土井
9/17. 3/12 ※10/9	自動ドア保守点検 ※戸車、センサーの交換	自動ドアの保守点検	フルテック	萬代
4/24. 3/2	冷蔵庫保守点検	保守点検	ホシザキ	宗子
5/22. 11/8 1/10. 3/21 ※9/30	電気設備保守点検 ※PAS 交換	電気設備の保守点検	日本テクノ ※佐々電	萬代
随時	車両点検	車両の保守点検	ディーラー	佐々木央

7. 見学者並びに訪問者の受け入れ状況

積極的に受け入れをし、ラボラーレの活動について多くの方に知って頂く機会を設ける取り組みを行った。

*施設見学者

月日	見学者件数	見学者数
4月～9月	11件	75名
10月～3月	8件	59名
合計	19件	134名

※個人での見学、他施設保護者会、支援学級保護者会、支援学校教員 等

*支援学校実習

月日	学校名	人数
6/12～6/16	迫支援学校	1名
6/16～6/23	3年生	1名
6/26～6/30	石巻支援学校 3年生	1名
9/12～9/19	石巻支援学校 2年生	1名
11/13～11/20	石巻支援学校 1年生	1名
11/27～12/1	船岡支援学校 1年生	1名
合計	3校	6名

8. 避難訓練の実施状況

平成29年8月に洪水、大雨時についての計画の追加、自衛水防対編成表の追加、原子力災害時の避難計画について作成している。通報、消火、避難誘導、乗車訓練、屋内退避等の動きを職員一人一人が理解し行動、訓練することで、非常時においても適切な対応がとれるよう、また利用者様が落ち着いて避難できるように以下の訓練を実施した。

避難訓練の内容

月日	訓練	内容	参加人数	
			利用者	職 員
8/25	水害時の避難場所確認	実際にルートと避難先の現場確認		14名
8/30	Jアラート 屋内退避訓練	各活動場所から施設内への誘導	35名	16名
9/21	Jアラート 屋内退避訓練	各活動場所から施設内への誘導	パン作業 F&C作業 の利用者 12名	5名
10/17	水災害時の避難行動訓練（1回目）	情報収集 乗車訓練等	38名	16名
11/16	水災害時の避難行動訓練（2回目） 原子力災害避難訓練	情報収集 乗車訓練等	38名	16名
11/22	火災総合訓練 依頼：河北消防署桃生出張所	避難訓練 水消火器による消火訓練等	37名	16名

9. 平成29年度 行事実施状況

月日	行事名	内容	場所
5/16	ハンドバイク体験会 (協力:ハンドバイク協会)	乗車、走行体験 ※石巻日日新聞に取材に 来て頂いている。	ラボラーレ
8/23	自立支援協議会交流会	福祉に興味がある方々と の交流(20名)	ラボラーレ
9/19 9/29	中津山第二小学校 四年生交流会	ラボラーレの見学 利用者様との交流会	ラボラーレ
2/7	桃生小学校 三年生交流会	キャップハンディに係る 体験学習、ラボラーレ利用 者様からの体験談	桃生小学校
毎月	祝日に係る催事	利用者様も交えての催事	ラボラーレ

10. 地域における公益的取り組み

・独居高齢者世帯の方を対象に、栄養バランスの摂れた食事を低価格で味わっていただきながら、外出と交流の機会を提供している。

※平成29年度 33食提供

※食事のほか、マッサージ機の使用やゆったりと時間を過ごして頂いている。